

緊急講座 10月期パンフレットに記載のない講座です
「東京・春・音楽祭」ワーグナー・シリーズ プレ講座
偉大なるワーグナーの祭典

オーケストラピットから見たバイロイト音楽祭

講師 ヴァイオリニスト 眞峰 紀一郎

リヒャルト・ワーグナーが自作歌劇上演のためにつくったバイロイト祝祭劇場で、毎年7~8月にかけて開かれる「バイロイト音楽祭」は、世界で最もチケットが取りにくい音楽祭といわれます。

日本人として唯一、30年以上にわたってバイロイト祝祭管弦楽団に在籍した眞峰紀一郎氏が一時帰国するのを機に、音楽祭の魅力、指揮者や歌手にまつわるエピソードなどをお話しいたきます。



<講師紹介> 眞峰紀一郎(まみね・きいちろう) 1941年東京生まれ。疎開先の松本にて鈴木鎮一氏に師事(才能教育第一期生)。松本深志高校卒業。64年国立音楽大学卒業と同時に、新創立の読売日本交響楽団に入団。69年ドイツ(旧西ベルリン)に留学、豊田耕児氏の許で研鑽を続ける傍ら、ベルリン音楽大学で室内楽を学ぶ。70年ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団に入団し、2006年定年退団。その間、ベルリン・フィルのエキストラとして、カラヤン指揮のコンサートや演奏旅行に数多く参加。73年よりバイロイト祝祭管弦楽団のメンバーとなる。室内楽の分野では、77年からベルリン・フィル弦楽ソリステンのメンバー。82年以来、旧西ベルリンのシンボルであるウィルヘルム皇帝記念教会で隔週にバッハのカンタータやミサ曲を演奏するベルリン・バッハ合唱団の理事、バッハ・コレギウムの責任者を務め、今日に至る。

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森-

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う、「東京・春・音楽祭-東京のオペラの森-」。

今年は3月14日~4月10日までの約1ヶ月間にわたり開催されました。7年目を迎える2011年は、NHK交響楽団とのワーグナー・シリーズの第2回として、本年のバイロイト音楽祭で鮮烈なデビューを果たした期待の俊英指揮者ネルソンスを招いての(ローエングリン)の公演のほか上野の文化施設にてバラエティに富んだライナップが予定されています。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。http://www.tokyo-harusai.com/

日 時 2010年 10月22日 金曜日 19:00~20:30
受講料(税込み) 会員 2,940円 一般 3,570円(入会不要)
学生会員 1,500円

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。
講師の病気や受講生が一定数に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。

